

みうらのさくらの ものがたり

作・平田昌広 絵・平田 景



「あっ！ 桜が咲いてる！」

なんでもう咲いてるの？」

しがつう
四月生まれのさくらちゃん。

たんじょうび
誕生日に咲いてくれるはずの桜が

まだ二月なのに咲いています。

みうらかいがん
ここは三浦海岸。

しづおかけん
静岡県の早咲きの河津桜が

どうしてあるのでしょうか。



1997年、駅前の6本をはじめ、
学校や市民センターなどに
約300本の河津桜がうえられました。

「冬にもお客様をよぼう!」

あつい気持ちがある老人ホームの

おじいちゃんのこころをうじかしました。

おとうさんとおかあさんといっしょに
河津桜のひみつを調べることにしました。
三浦海岸のことならなんでもしってくる
寿司屋の大将がおしゃべってくれました。
「せんりちゃんが、三浦に引っ越してきて
じこなつて思つたといふはいいかな?」

「海ー、せんり、海がすき!」

せんりちゃんが元気にこたえないと

大将はにっこりわらつていいました。

「海はいいねえ。海水浴にマリンスポーツ。
夏にはお客様がいっぱいくるしね。

でも、反対に寒い冬は

お密せんがぜんぜんこなくてさびしかったんだ。」

おとうさんの目が刑事のようにきらりとひかりました。

「なるほど。それで寒い冬に咲く
河津桜をうえたわけですね。」

「わしは河津桜を100本プレゼントする!」

おじいさんのお金をもとに
さらに100本の桜がうえられました。

おおいたぎであつめられたため
河津桜より早く咲く種類がまじつてきました。
それで、いまも一部の桜は

年明けのころから咲きはじめたのです。



にせんせん年
2003年、三浦海岸桜まつりがはじまりました。
うえられてからわずか6年の桜でしたから
まだちじせぐ、ちょうちんのほうがめだつっていました。
とおくがひやつてきたお客様さんは日々にいました。
「これじゃあ、桜まつりじやなくて
ちよつあんまつりだなあ。
わざわざくらんじやなかつたよ。」



でも、三浦の人々はあきらめませんでした。
ばかにされても、冷たい目でみられても
あつい気持ちをもちつづけて
たいせつに桜をそだてました。
桜のじたに菜の花もうえました。
そして…



にがつ
まいとじ二月になると
まちじゅうが桜いろにそります。
いまでは三浦海岸桜まつりには
30万人以上のお客さんがおとずれます。
夏の海水浴と冬の桜まつり。
季節がひとつにつながったように
みんなのおもいも
ひとつにつながったのです。



紙芝居『みうらのさくらのものがたり』
神奈川県三浦市の有志の読み聞かせサークル「えほんの海をおよぐ」の企画のもと、三浦海岸在住の夫婦絵本作家・平田昌広、平田景が制作した紙芝居。市内の図書館や小学校等に寄贈され、「桜まつり」のはじまりを子どもたちに伝えるとともに市民をつなぐツールとして活用されています。この絵本は同作品をもとに作者自ら加筆修正したものです。

(おわり)

「こんなにはやくから桜が咲くと
誕生日がはやくきたみたいでうれしいな。
さくら、三浦に引っ越してきてよかつた！」
このおはなしを思いだしながら
三浦の桜をごゆっくりお楽しみください。
さくら、三浦に引っ越しきてよかつた！」
このおはなしを思いだしながら
三浦の桜をごゆっくりお楽しみください。
（おわり）